

## 学術越境プログラム Phase1 支援プログラム 募集要項

人間・環境学研究科附属学術越境センター

### 1. 趣旨

修士課程の学生が、現在実施している研究を基に発想を広げ、分野連携教育研究や産学連携教育研究、国際連携教育研究などの学術越境研究へと展開するための挑戦的な準備活動に対して、人間・環境学研究科附属学術越境センターが経済的支援をします。本プログラムでは、自由な発想により学術越境研究の可能性を追求し、学術架橋力の習得を目指す意欲的な学生を受け入れます。また、本プログラムを通して、博士後期課程における学術越境研究の計画を立案し、学術越境プログラム Phase2 支援プログラムの申請書を提出することを目指します。

### 2. 応募資格

京都大学大学院人間・環境学研究科の博士後期課程進学を検討している修士課程 1 回生を対象とします。授業「学術越境研究計画 1」の履修を応募の必要条件とします。

3. 支援額 30 万円以内

4. 採択数 10 件程度

### 5. 支援期間

◆修士 1 回生：修士 2 回生前期～修士 2 回生後期（1 年）

※休学期間中や支援期間を超える場合は支援の対象となりません。

### 6. 支援内容

学術越境研究の計画立案のための準備活動に、経済的な支援を提供します。準備活動は以下のような内容を例として想定していますが、自由な予算使途の計画を重視します。

- 長期海外留学を見据えた短期の海外渡航
- 長期の企業インターンを踏まえた短期のインターン
- 分野横断共同研究を展開するための準備的な研究打ち合わせ、予備調査
- 申請者が主体となって開催する研究会・勉強会の運営費や講師の招聘費等

### 7. 申請手続

所定の申請書様式の内容をよく読んで必要な情報を日本語もしくは英語で入力し、申請書を作成してください。申請前には必ず、指導教員の承諾および申請書所定欄への自筆署名を取得してください。申請書は指導教員署名を取得したものをスキャンして、申請受付期限までに[ekkyo-program@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp]宛にメール添付にて提出してください。メールの件名は「[越境プログラム-Phase1 応募]・学生番号・氏名」としてお送りください。

## 8. 申請受付期限

令和8年1月30日(金) 17:00 厳守

## 9. 選考方法

申請書の内容に基づいて、学術越境センター専任教員（2名）及び兼任教員（10名）が書面による選考を実施します。分野に捉われることなく、総合的に審査します。主要な審査方針は、以下の通りです。

### 〔審査方針〕

- ① 研究課題の設定に至る背景や当該分野における位置付けが示されていること。また、研究の目的や内容が分かりやすく伝えられていること。
- ② 現在実施している研究を基盤として発想を拡大し、分野連携教育研究、産学連携教育研究、国際連携教育研究などの学術越境研究への展開が示されていること。
- ③ 学術越境研究を実施するために必要な準備活動が示されていること。
- ④ 予算の使途が、学術越境研究の準備活動を実施する上で妥当なものであること。
- ⑤ これまでの何らかの学術越境活動に関する経験・実績が示されていること。

## 10. 採用内定後の手続等について

令和8年3月末までに、採択者に通知します。

## 11. 注意事項

- (1) 申請は、所定の様式を使用してください。様式の変更、所定様式以外の用紙の追加は認められません。
- (2) 申請は1人1件とします。2件以上申請した場合は、全ての申請が無効となります。
- (3) 申請は、個人によるものに限ります。複数人での申請は受け付けません。